

# 丹沢 大山ボラネット瓦版

2017年 12月号 No.97号



丹沢周辺の里地 里山 里川の風景 (山北町東名陸橋付近)

## 平成 29 年度 丹沢大山ボランティアネットワーク講演会 報告



↑写真 盛況な丹沢講演会の様子

### ★ 丹沢講演会は年ごとに盛大になってきました。

参加者の皆様へ

お忙しい中、講演会に参加して頂き有り難うございました。

三回目を迎えた今年は、昨年以上に多くの方が集まり盛大に開催されました。ひとえに皆様方の援助のおかげです。

昨年度 44 名 今年度 50 名 の参加者が有りました。

場 所 神奈川県自然環境保全センターレクチャールーム

演 題 「絶滅の危機にある昆虫の保全」

講 師 荻部 治紀 先生

日 時 9月9日(土) 9時30分～12時

### ★丹沢講演会の様子 司会運営 小野

(1) 代表挨拶の内容 小林昭五

今年度で三回目講演会を迎え充実した内容になってきました。

昨年度は県内の山岳での遭難者は111件と過去最悪になりました。その内、中高年者が7割を占めています。

いろいろな活動で山へ入るボラネットの皆様気をつけて活動してください。



↑写真 小林代表挨拶

(2) 荻部治紀先生のご紹介 長嶋 栞 事務局より  
生命の星・地球博物館 主任学芸員

・トンボの専門

・最近10年ほどは、絶滅の危機にある昆虫の保全活動を各地で行っている。

・特にアメリカザリガニなどの外来種問題解決のために駆除活動行っている。



↑写真 荻部講師紹介の様子



←写真 講師 荻部先生

・小笠原諸島固有昆虫の保全活動を行っている。

・トンボ類の世界的なコレクションを構築中。

自分で名前を付けた【記載するとう】

新種も50種を超えている。

こうした学術的に貴重な標本を含め、東南アジアのものを中心に収集をして

いる。

神奈川県内の過去の自然の様子がわかる標本、丹沢や箱根などの標本などの学術資料を収集保存している。

・環境省のレッドリスト改訂の委員



・トンボ学会委員長 甲虫学会の自然保護委員などをつとめている。

←写真 ミヤマアカネ

### ★苅部先生講演の内容

絶滅の危機にある昆虫の保全について話されました。

その原因はいろいろな要素が関係しているが、その中で外来種の繁殖問題と環境整備を中心に話が進められました。



↑ 写真 講演のテーマ



里地、里山の休耕地、休耕田などにより田畑の原野化が進み昆虫や水生生物が生育環境を失ってしまった。

元は谷戸の水田だった所が乾燥の荒地になってしまった。

用水路が護岸工事で水生生物が住みづらくなってしまった。そのため元の種が消えたり新顔が入り込んだりした例もある。

←写真 休耕田やコンクリート水路により変化した環境



←写真 田んぼはアカトンボにぴったり

### 里山と水田稲作は

水、産卵、ヤゴの生活、捕食、出合、山地生活などトンボの一生のサイクルが整えられた、生息には絶好の環境です。



←写真 日本のアカトンボの種

日本は秋津島と言われるよう稲作が盛んでトンボの天国であった。その中でも赤とんぼの種は世界の1/3の21種も生息しています。

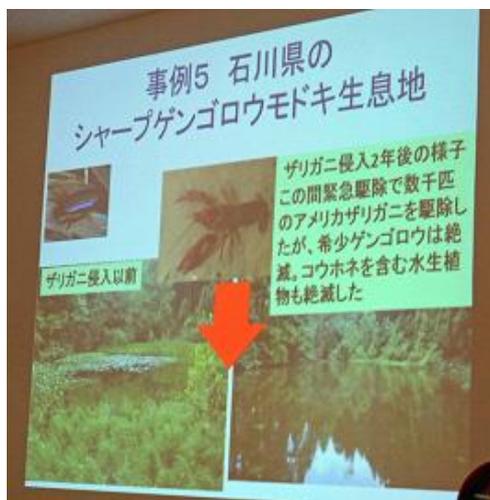
このような環境も現在は変化しています。昆虫などの生息環境は自然のまま放っておいては悪化します。人間の生活の中に入り込み共存して来たのですから、人が手を入れることで環境が整備されるのです。

トンボ、チョウ、ホタルなどの復活には、

まずは環境整備です。生物の保護は住める環境を作り出すことが大切です。

里地の田んぼの休耕田も問題だが、里山の放置も問題になっています。放置の結果、人工林の荒れ土壌流出や竹林化など多くの問題生じます。

→写真 放置された里山、里地の様子

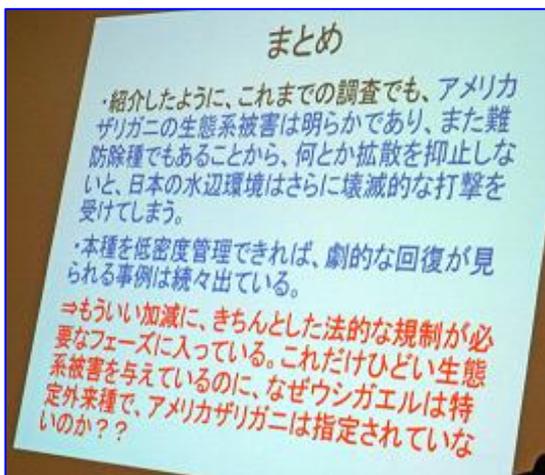


↑ 写真 在来生物の影響の様子。

次に外来種侵入の大きな環境破壊が問題です。

特にアメリカザリガニの日本全国への侵出が問題になっています。

今では北海道まで拡大して、いろいろな所で日本在来種水生生物や植物が被害を受けています。



アメリカザリガニは特定外来生物のブラックバス等と違い、水を抜いても生き延びられます。

大変だが一匹一匹捕まえて駆除することが大事です。

また在来種のコイやナマズで小さいものは退治し、生態的均衡を保つことが出来ます。しかしこれも課題は多いです。

現在は要注意外来生物だが特定外来生物に指定し全国で意識して日常的に駆除に努めることが大切です。

### ↑まとめ

#### 講演会 アンケートまとめ

上の講演会のテーマはいかがでしたか？

非常に良かった	7
良かった	23
普通	8
悪かった	0
非常に悪かった	0

① 演会の内容についてはいかがでしたか？

よく理解できた	10
理解できた	19
普通	8
あまり理解できなかった	1
全く理解できなかった	0

② 後、講演会で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・植物の保全の大切さ

- ・シカ、イノシシの食害について
- ・子供相手のプログラム紹介または結果報告、事例紹介
- ・丹沢の動物、生きもの
- ・丹沢の微生物等、他では聴けないテーマがよい。
- ・山口先生の専門のコウモリの話。水産関係の方に丹沢周辺の魚の話。地質学の話。
- ・丹沢の山々の成り立ちと植生の分類等（山全体の話）が聞きたい。
- ・丹沢の動物とその被害状況、対策について。丹沢の昆虫類。
- ・丹沢のチョウ類について
- ・時事的な自然状態を取り入れた内容をお願いしたい。
- ・神奈川の大地、自然が育む植物、生物群
- ・シカの生態とシカ肉を使った料理など取り上げてほしい。
- ・地質学的丹沢の歴史もやってほしい。
- ・以前「ヤマヒル」について参加しましたが、その後の分布等変化があれば…
- ・野生動物、特に鳥類

お忙しい中、「丹沢講演会」へお出で頂きまして、そしてアンケートへの御記入協力を頂き、本当に有り難うございました。

上記のアンケート結果を検討して、次年度の「丹沢講演会」の内容を決めていきます。

## 平成29年度ボランティアネットワーク各団体の行事予定

ボランティアネットワークに登録されている団体の1月～3月の行事予定を紹介いたします。

### 神奈川県山岳連盟

1月28日（日帰り）

件名：第74回森林づくりボランティア活動

場所：清川村 煤ヶ谷水源林

時間：9時土山峠集合 14時土山峠解散

内容：旧里山林整備

2月24日～25日（1泊2日）

件名：第7回山の自然セミナー

場所：於：県立山岳スポーツセンター

時間：13時～16時

内容：講演・登山など

# 野生動物救護の会 掲示板

## 足環プロジェクトの紹介

◎当会では神奈川県自然環境保全センターから放鳥する野鳥の脚に足環をつけるプロジェクトを行っています。

◎目的：足環をつけた放野個体が野外で発見もしくは再捕獲等されることでその個体の生存年数、移動範囲・距離などを知ることができます。

◎対象となる種類：猛禽類・水禽類など

## 最近放野した個体

種名	足環番号	放野日	放野場所
トビ	L0	2017/9/11	平塚市
カルガモ	L2	2017/9/21	平塚市
チョウゲンボウ	L3	2017/9/21	平塚市
チョウゲンボウ	L4	2017/11/6	座間市
オオコノハズク	L5	2017/10/10	相模原市
フクロウ	L6	2017/10/10	茅ヶ崎市
ウミネコ	L7	2017/10/9	平塚市
ノスリ	L8	2017/10/26	大磯町湘南平

\*詳しくは当会 HP とブログ (<http://blog.goo.ne.jp/yaseidobutsu-kyugo>) をご覧ください。放野場面の動画などをごらんいただけます。

赤い足環をつけた鳥をみかけたらご連絡下さい。

特定非営利活動法人 野生動物救護の会 事務局

神奈川県秦野市戸川 1086-4

TEL : 0463-75-1830

E-mail: [wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp](mailto:wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp)



L2 の足環をつけたカルガモ

## ★環境教育のおしらせ

2018年1月31日(水) 秦野市立上小学校1～2年生 野生動物についてのお話をします

☆探鳥会も計画中！詳しくは HP (<http://www.kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>) をご覧ください。



**特定非営利活動法人  
かながわフィールドスタッフクラブ**

2018年  
1月～3月の活動予定

日付	場所	事業名	内容
1 / 7 (日)	七沢森林公園	モニタリング	植物、鳥類や昆虫などの情報を発見、記録し、参加者と共に共有する。
1 / 14 (日)	七沢森林公園	森林セラピー	陽だまりでリラックス（呼吸法や座禅体験）
1 / 28 (日)	保全センター	ミニ観察会	自然観察を通じて、自然環境の大切さを体験する。
2 / 4 (日)	七沢森林公園	モニタリング	植物、鳥類や昆虫などの情報を発見、記録し、参加者と共に共有する。
2 / 10 (土)	保全センター	第二回 F S 養成研修講座	体験教室 B 自然観察会の企画運営
2 / 11 (日)	七沢森林公園	森林セラピー	初春の森を五感で楽しむ（リラクゼーション）
2 / 12 (祝)	保全センター	ミニ観察会	自然観察を通じて、自然環境の大切さを体験する。
2 / 25 (日)	保全センター	ミニ観察会	自然観察を通じて、自然環境の大切さを体験する。
2 / 25 (日)	KFSC	遠足観察会	
3 / 4 (日)	七沢森林公園	モニタリング	植物、鳥類や昆虫などの情報を発見、記録し、参加者と共に共有する。
3 / 11 (日)	七沢森林公園	森林セラピー	霊峰大山からパワーを感じてリフレッシュ（ハンモック体験）
3 / 25 (日)	保全センター	ミニ観察会	自然観察を通じて、自然環境の大切さを体験する。

※「保全センター」…「神奈川県自然環境保全センター」の略称

※「KFSC」…「特定非営利活動法人かながわフィールドスタッフクラブ」の略称

※「F S 養成研修」…「フィールドスタッフ養成研修」の略称

**その他の活動**

自然環境保全センター「自然観察園ガイド」

自然環境保全センターの委託により、子どもや成人を対象に自然園内の動植物などの自然観察指導を実施しています。

出前観察会

県内の学校などから直接委託を受け、学校などの施設の付近のフィールドにスタッフが  
が出向いて動植物などの自然観察指導を実施しています。

詳細はホームページを参照下さい。

URL : <https://www.npokfsc.com/>「かながわフィールドスタッフ」で検索

丹沢ボラネット瓦版2017年12月号(通巻97号) 12月16日発行  
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五